

学校だより 熱 砂

＜発行＞
令和5年3月3日
発行責任者：
校長 和田 政男

今年度も残り1週間となりました。今年度で帰国される先生方からのご挨拶です！

この度任期を終え帰国する派遣教員からのご挨拶を紹介いたします。保護者の皆様をはじめ、在ドバイ日本国総領事館、ドバイおよびU. A. E. 北部日本人会、学校運営理事会等、関係諸機関の皆様には、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。帰国する派遣教員の益々のご活躍を祈念いたします。

和田 政男 校長

3年5カ月の在任期間は、コロナパンデミックもあり大変な時期でした。課せられた使命を果たすべく、課題に対する方針を定めて臨み、その時々に来る課題にも正しいと思うことを職員と共に実践して参りました。上手く行ったこともあれば、なかなか成果の見えないものもありましたが、自分では上出来とは言えないまでも、ここに至りやっと背負っていた重い荷物を降ろせるようなほっとした気持ちです。

皆様に支えられたからこそ、ここまで来ることが出来たと感謝しております。本当にありがとうございました。

梅山ゆかり 教諭

激動の4年間でしたが、素直で明るい児童生徒と温かく協力的な保護者の皆様のおかげで、充実した日々を過ごすことができました。この地での出会い、経験した事は人生でかけがえのないものです。ドバイ日本人学校の益々の発展と子供たちの成長と活躍を願っています。お世話になり、大変有難うございました。

富田律子 教諭

1年間という短い間でしたが、お世話になりました。素直で優しい子どもたちと一緒に学習が出来て、とてもありがたかったです。また、この短い間に、入院をしてしまい、多大なご迷惑をおかけして、誠に申し訳ありませんでした。帰国後は、年老いた両親に、親孝行をしたいと思っております。ありがとうございました。

斎藤孝太 教諭

本校では、3年間お世話になりました。ドバイ日本人学校でたくさんの人々との出会いや経験してきたことは、自分にとって大切な宝物となりました。日々成長していく子どもたちの姿を見ることができて、本当に幸せでした。これか



↑ PTAからの記念品を手に、帰任者一同で記念撮影

らも、笑顔で、明るく元気に頑張っしてほしいと思います。保護者の皆様には、たくさんのご支援やご協力をいただき、心より感謝いたしております。ありがとうございました。

藤原純江 教諭

「聞こえない子」相手から、「聞こえる子」を相手になる楽しさと少しの不安の中、5カ月の日本でのオンライン授業を経てやって来たドバイ。素直で明るく個性豊かな子どもたちとの時間はあっという間でした。温かく家族のようなDJS。3年間関わってくださった方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

古市伸一 教諭

初の海外生活で右も左もわからなかった私を、DJSの子どもたちや保護者の皆様に支えていただき、充実した2年間を送ることができました。主にG3～G9の理科の授業に関わらせていただきましたが、どの子供たちも実験・観察に目をキラキラ輝かせ、興味津々に取り組んでいる姿が素晴らしかったです。この学校で貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

中村明彦 教諭

このDJSで出会った熱沙祭は、児童生徒一人一人が輝き、成長する素晴らしい学校行事です。また、運動会も、G1からG9の児童生徒が一つになり、DJSのつながりを育む素晴らしい行事です。この二大行事を柱とした学校文化を継承し、益々の発展を願っています。2年間、大変お世話になりました。保護者をはじめ皆様、まことにありがとうございました。